

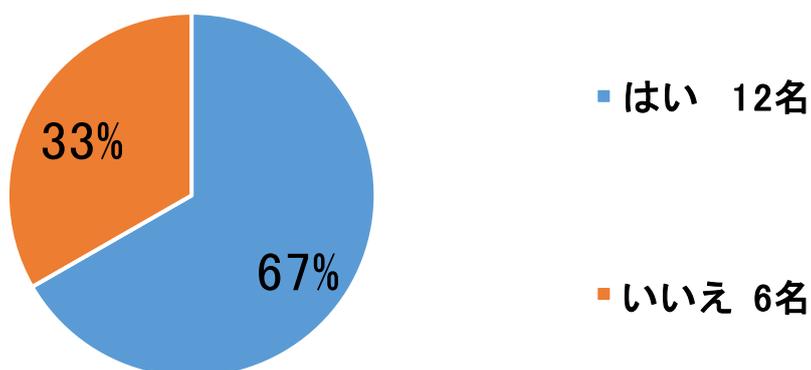
地域活性化支援組織 LiNKs(名古屋学院大学)

活 動 実 績 調 書

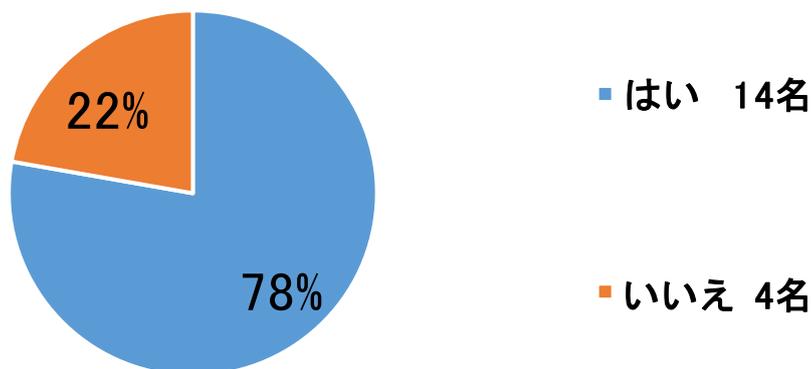
(1) 活動の名称	IT講習会 ～瀬戸でITを学んでみよう～
(2) 活動の目的・成果 (※何をめし、何が成果として得られたかについて記載)	急速に進む情報化社会において、ITが使える人と使えない人の間に生じる情報格差いわゆるデジタルデバイド問題を解消するきっかけづくりのために、瀬戸市の高齢者を対象にしたIT講習会を開催しました。実際に受講者にIT機器に触れてもらうことで、ITリテラシーの向上を図るとともに、私たち学生も講師やティーチングアシスタントを経験することにより、スキルアップをすることができました。また、全講習を終えて行ったアンケート結果では、94%の受講者の方から満足したという評価をいただくことができました。
(3) 活動の実施内容 (※活動の実施方法、時期、場所、回数、市民等への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	IT講習会～瀬戸でITを学ぼう～ 日 時 9月4日～9月7日の4日間で6回実施 (台風21号の影響により9月4日は中止) 場 所 名古屋学院大学 瀬戸キャンパス 周知方法 「広報せと」8月1号に掲載 参加人数 学生 43人 受講者 23人/1回 (講座によって変動有り) 内 容 瀬戸市のシルバー世代を対象に IT講習会を開催。講座としてはパソコンの基礎知識から wordでの年賀状の作成、Excelを用いた旅行の計画表の作成やタブレットを使ったSNS活用 (LINE・Twitter等)のティーチングを行った。
(4) 活動実施上の工夫 (※活動の趣旨・目的達成のため、特に創意工夫した点について記載)	本活動では、受講者一人ひとりに学生がティーチングアシスタントとして付くマンツーマン体制で講習会に臨んだ。また受講者の方が復習できるよう学生が独自で教科書を作成し、より深く学びたい方のために補助教材 (冊子)を作成した。各講座終了後には受講者の要望に沿った講義を行えるようにミーティングを実施した。加えて、台風により中止となった講座分も質問の時間を設けるなど、受講者のニーズを対応できよう工夫した。
(5) 活動実施上の反省点 (※具体的な反省点等について記載)	講習会後に回収したアンケートでは、ティーチングアシスタントから細かい説明が受けられることについての満足度が非常に高かった一方、全体の進行をもつ講師役の役割が不明であった点を指摘いただいた。授業構成をさらに高められるよう工夫していきたい。また「タブレットとパソコンの周辺機器の接続方法」など実践的な操作方法について質問が多く集まった。こちらは講義内でより充実させていきたい。本講座の開講・実施をより多くの方に知ってもらうために、チラシの配布や関係施設への設置など周知方法をさらに工夫して、初めて参加する新規層の取り組みをかんがえていきたい。

2018年度 IT 講習会～瀬戸で IT を学ぼう～アンケート集計結果
(9月7日集計)

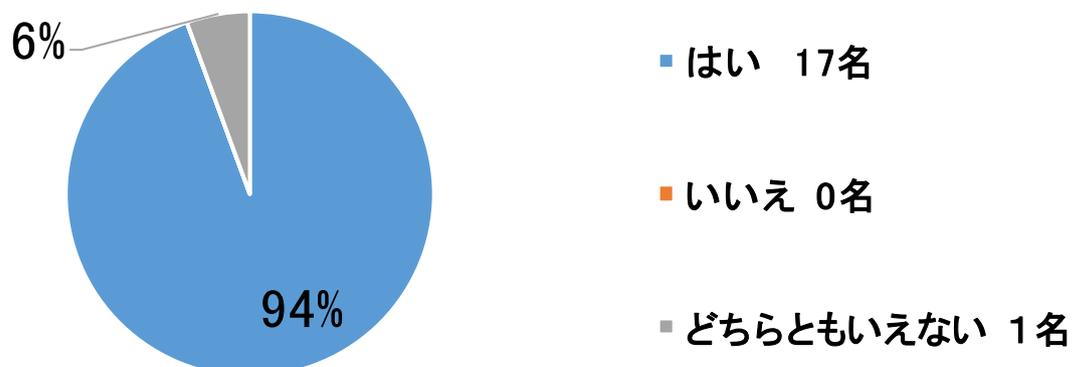
① 以前に LiNKs が主催する IT 講習会に参加したことがありますか。



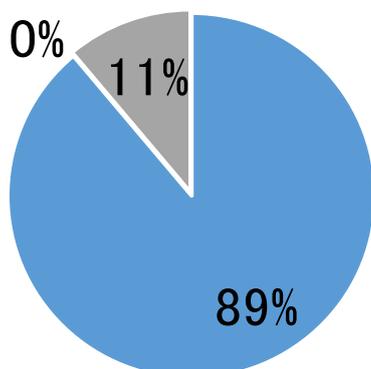
② ほかの団体が主催する IT 講習会に参加したことがありますか。



③ 本講習会の内容に満足しましたか。

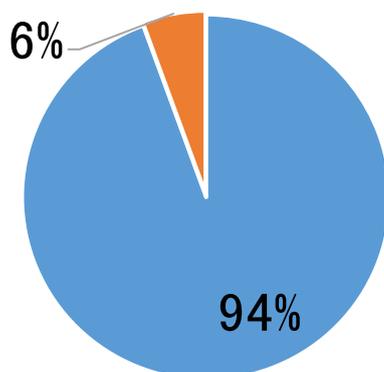


④ 本講習会の難易度は適切でしたか。



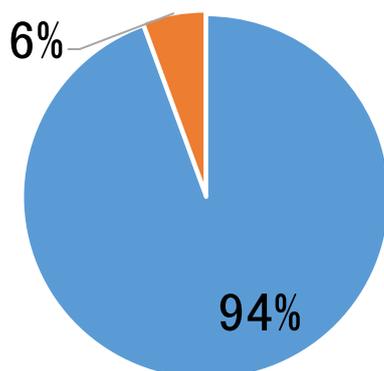
- はい 16名
- いいえ 0名
- どちらともいえない 2名

⑤ 本講習会の進行速度は適切でしたか。



- はい 17名
- いいえ 1名

⑥ あなたの IT スキルは上達しましたか。



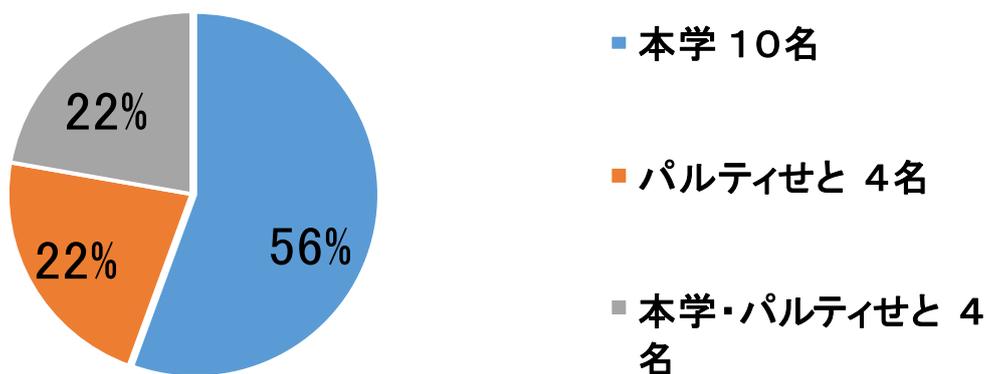
- はい 17名
- いいえ 1名

⑦ 今後、講習会でさらに学びたい IT 機器はありますか。

タブレット、パソコン、デジタルカメラ、スマートフォン、コピー機

- ・いろいろな無料のアプリを知りたい。
- ・デジカメで撮った写真をパソコンに入れたい。
- ・タブレット（スマートフォン）のデータをパソコンに取り込みたい。

⑧ 来年、IT 講習会に参加するとしたら、どのような場所で受講したいですか。



⑨ その他、感想などありましたらお願いします。

- ・ネット通販の講習などを受けてみたい。
- ・マンツーマンで手取り足取り教えていただき本当に感謝しています。ほかの講習では機器を持っていないと入れなかったり費用も掛かるのに無料で大丈夫かなと思います。立派なテキストもいただけてありがとうございます。
- ・学生アシスタントが1対1で教えてくださり、分かりやすかったです。
- ・復習や質問をするために、昼の休憩の時間も長く教室を開放してほしい。
- ・マンツーマン体制であれば、講師は細かい手順や説明は避け、司会・進行役になった方がよいのでは？
など 14 名の方から回答あり。